

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
地域未来塾事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	13	地域未来塾事業	
担当課・係等					
生涯学習課 生涯学習係					

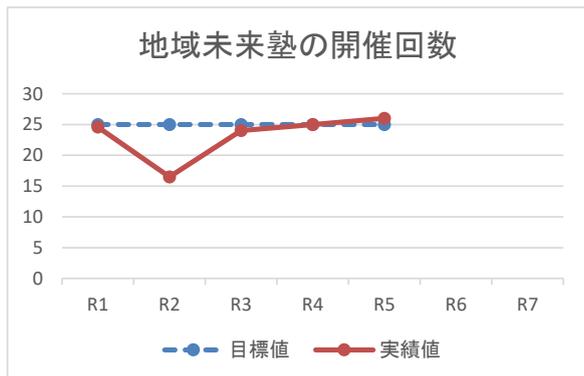
実施計画整理番号	
101010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学習が遅れがちな中学3年生を対象として、自主的な学習をサポートすることで学習習慣が身に付くようにする。	各公共施設において、本事業を定期的を開催することで、学習環境の充実を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学習が遅れがちな中学3年生を対象として、自主的な学習をサポートすることで、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

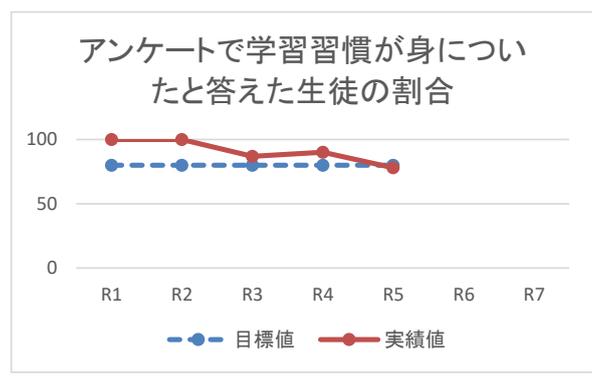
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	464	464	426						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	464	464	426						
	人工数	人	0.7								
	人件費	千円	3,831								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
長期休業期間及び毎週土曜日に実施することで、学習習慣の確立を図る。	地域未来塾の開催回数	回	25	25		
		目標値	25	26		
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
継続的に開催することで、参加生徒の学習習慣の確立につなげる。	アンケートで「学習習慣が身に付いた」と答えた生徒の割合	%	80	80		
		目標値	90	78		
			実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	1	1	1	地域未来塾事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	13	地域未来塾事業

整理番号
101010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>参加生徒21名で1回あたり2時間。計26回実施することで、参加生徒の学習機会の充実が図られた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>地域未来塾の認知度向上を図るため、市内全中学校を回り事業説明を行い、受講者は昨年度と比べて4名増であった。引き続き市内中心部に位置する総合市民センターを実施会場にすることで、生徒の利便性を図った。会場を1箇所に集約することで、講師陣の連携やよい緊張感が生まれ集中し学習することができた。未来塾を卒業した生徒の弟妹が申し込みすることから、事業継続の効果がみられる。今後、学習アイテムが教科書からタブレットに移行した場合、学習方法の変化も予想されるので動向を注視したい。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		④調達方法の見直し	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>令和6・7年度の実施予定なし。広く大きな事業効果を示すものではないが、必要性が度々問われる事業なので継続が望まれる。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>地域未来塾の開催により、学習環境の充実に一定の成果があったと認められる。</p>		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
文化会館主催事業					

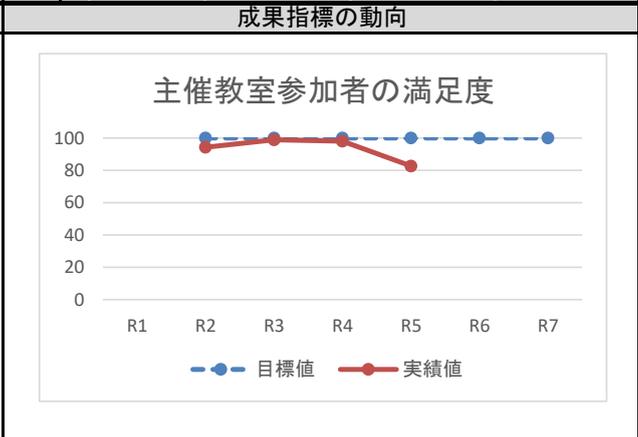
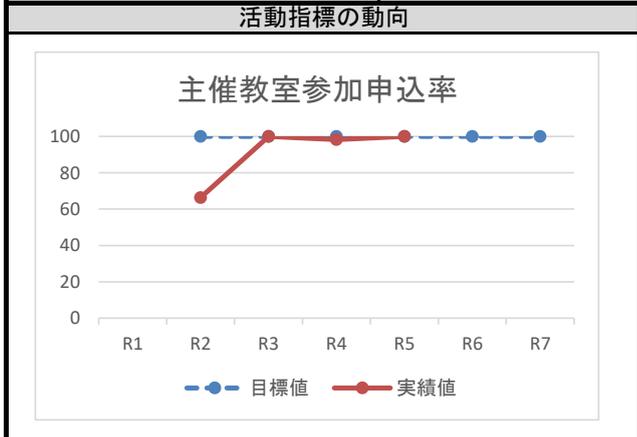
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	06	03	文化会館主催事業	
担当課・係等					
東部台文化会館 管理事業係					

実施計画整理番号	
101010102	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民の文化活動を支援し、教養の向上を図るための講座や事業を充実させる。また、外房地区に映画館のない現状のなか、市民の身近な施設で上質な映画を定期的に提供することにより、文化活動の拠点となるようにする。	・多様なニーズにあった主催教室を実施する。 ・主催事業として、上質な映画を定期的に上映する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか) 市民の学習ニーズの多様化や主体的な学習意欲の高まりに伴い、効率的な主催事業運営に努める必要がある。各世代の多様なニーズにあった主催事業を拡充することにより、市民の教養の向上、健康の増進を図ることで、市民の満足度向上につなげ、ひいては施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	844	844	838						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	215	215							
	一般財源	千円	629	629	838						
	人工数	人		1.65							
人件費	千円		11,452								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
主催事業でのアンケート等を活用し、各世代の多様なニーズにあった主催事業の充実を図ることで、参加申込の向上に努める。	主催教室参加申込率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	98	100		
成果	成果指標	単位	目標値	100	100	100	100
			実績値	98	83		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	1	1	文化会館主催事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	06	03	文化会館主催事業

整理番号
101010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・主催教室は、公式ワナゲ教室、クラフトバンド教室、折り紙教室を実施した。また、新規に薬膳とヨガの健康教室、つるしびな教室を実施し、計30回実施、延べ参加者数260名、参加申込率100%となり各教室とも大変好評であった。</p> <p>・主催教室参加者へのアンケートで「大変満足・満足」と答えた割合が83%となり、概ね達成できた。</p> <p>・映画会は、令和5年10月22日(日)に1作品2回上映し、延べ来場者数648名であった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・主催教室は、より参加者の満足度が向上されるよう、市民の文化活動に対するニーズの把握が必要となる。</p> <p>・映画会は、上映作品について市民ニーズの把握が必要となる。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・主催教室は、市民の文化活動に対するニーズを把握し、教養の向上や健康の増進に資するよう更なる充実を図っていく。また、広報やポスター等により更なる情報発信を図っていく。</p> <p>・映画会は、アンケート等により市民の上映作品に関するニーズを把握し、文化、教養の向上に資するよう更なる充実を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>各種主催事業の実施により、市民の満足度向上及び学習機会・内容の充実に一定の成果があったと認められる。事業の実施にあたっては、市民ニーズに基づいた方法及び効果的な情報発信方法の検討に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
公民館学級運営費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費	
担当課・係等					
中央公民館					

実施計画整理番号	
101010103	
総合戦略 整理番号	

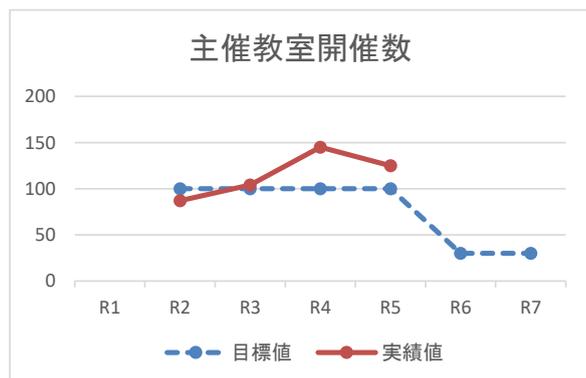
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民を対象(市内在勤を含む)に、各種教室を開催し、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館(中央、本納、鶴枝)では主催教室として女性、成人、少年を対象に25教室を開催する。 公民館運営審議会を開催する。 広報等により各種教室の情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

各世代が生きがいを持って学ぶことのできる主催教室を開催することにより、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。

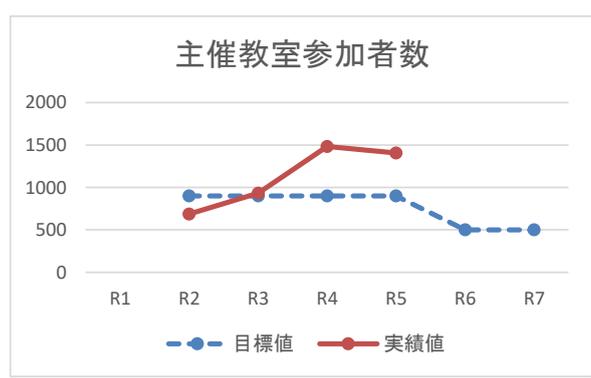
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,000	1,000	712						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,000	1,000	712						
	人工数	人	1.8								
	人件費	千円	12,205								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
新規の主催教室を企画し、開催回数を増やすことで学習機会の拡充を図る。	教室等の情報発信数	回	9	9	6	6
		実績値	14	12		
	主催教室開催数(3館合計)	回	100	100	30	30
		実績値	145	125		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化が図られる。	主催教室参加者数(累計)	人	900	900	500	500
		実績値	1,483	1,406		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	1	1	1	公民館学級運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費

整理番号
101010103

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	各公民館(中央・本納・鶴枝)では、女性、成人、少年を対象に主催教室を開催した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
教室の参加者は高齢者が主体となっているが、幅広い年齢層の参加を促進する必要がある。			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	幅広い年齢層の参加促進を図るため、受講ニーズのアンケートを行なっていく。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 主催教室の開催、またその参加者数については目標値を上回ってお り、学習機会・内容の充実により一定の成果があったと認められる。引き続 き各種教室を開催するとともに、情報発信にあたっては、時代に即した 効率的な周知方法の検討に努めていただきたい。	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	2	1	生涯学習	生涯学習体制の強化
実施計画事業名					
生涯学習推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	02	生涯学習推進事業	
担当課・係等					
生涯学習課 生涯学習係					

実施計画整理番号	
101020101	
総合戦略整理番号	

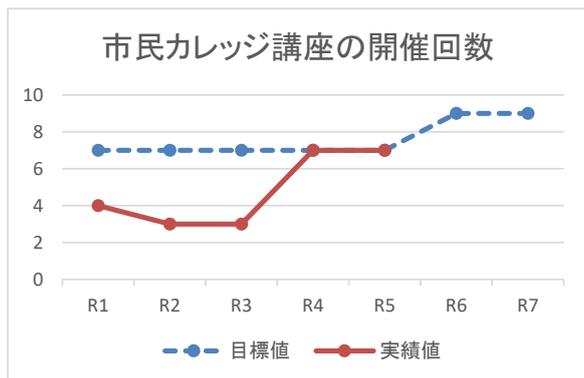
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報の提供、市民カレッジの開催等の推進により、市民が様々な学習活動に参加できるようにする。 生涯学習活動を行うすべての市民に成果の発表の場を提供するとともに、新たな学びを求める市民が学習機会に出会える場を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進協議会を通じて市民の意見を取り入れる。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

様々な生涯学習についての機会を提供するとともに関連機関との連携を図ることで、施策「学習機会・内容の充実」、「生涯学習体制の強化」に寄与する。

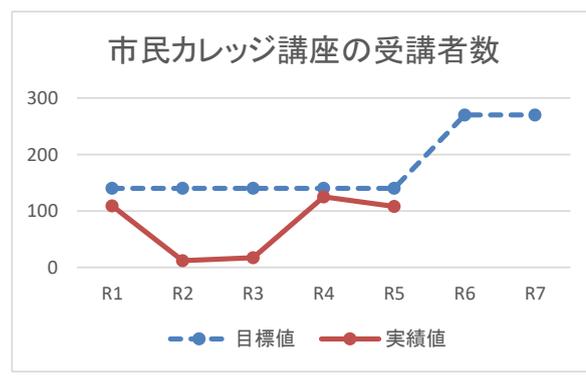
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	61	61	33					
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	61	61	33						
人工数	人	0.65									
人件費	千円	2,682									

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
「市民カレッジ」を開催することにより、市民に対し生涯学習の機会を提供する。また、広報誌を発行することにより、各種体験活動等について情報提供を行う。	市民カレッジ講座の開催回数	回	7	7	9	9
		目標値	7	7		
市民が学習機会に出会える場を創出することで、様々な学習活動に参加できるようにする。	市民カレッジ講座の受講者数	人	140	140	270	270
		目標値	125	108		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	1	2	1	生涯学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	02	生涯学習推進事業

整理番号
101020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>市民カレッジについては、人権をテーマにしたものを必ず1回盛り込み、市民の方が興味を持ちそうなテーマを企画し全7回を開催した。昨年度に比べ参加者数は若干の減であったが、一定数の参加があり安定した事業である。</p> <p>① 9月4日「子どもの権利条約等について」16人 ② 10月2日「郷私の街に電気が来た日～千葉県の電気事業～」10人 ③ 11月6日「茂原市史編さんの経過と『茂原市史資料編 I (原始・古代、中世考古)』の刊行について」11人 ④ 12月4日「美術企画展「人類への愛鳩川誠一展」について」10人 ⑤ 1月15日「テレビの災害報道～大切な命を守るために」28人 ⑥ 2月5日「生涯発達と地域生活について」8人 ⑦ 3月4日「災害時における避難所生活や介護の工夫～避難所運営ゲームHUGを通して考える～」25人 合計108人</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>一定数の参加があるとはいえ参加者の固定化が進んでおり、新規受講者の開拓が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>参加者へのアンケート調査を行うことで、市民の要望を把握し、参加者にとって魅力的な講座を開催するとともに、当日参加できない方のために「茂原市生涯学習課チャンネル」(動画投稿サイトYouTube)にて、当日撮影した講演の様子を配信する活動を継続する。また、後日、開催した講座の視聴会を開催するなど、インターネット環境が無い方や会場での視聴を希望する方向けに視聴会を開催する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>市民カレッジの開催により、市民の学習機会の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き市民カレッジを開催するとともに、時代に即した、より効果的な開催方法や周知方法を検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	3	1	生涯学習	生涯学習の担い手の育成・支援
実施計画事業名					
社会教育関係団体助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業	
担当課・係等					
生涯学習課 社会教育係					

実施計画整理番号	
101030101	
総合戦略整理番号	

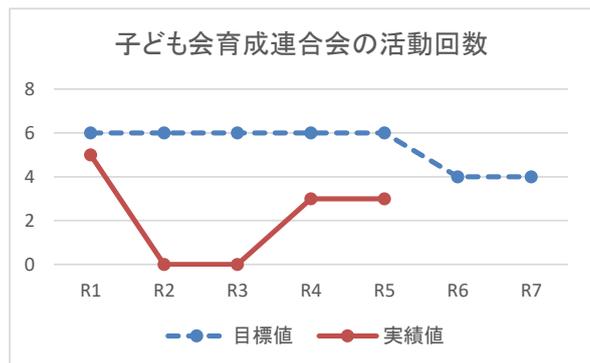
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	社会教育団体の育成・支援が図られるとともに、活動が活性化されることを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 各団体(PTA連合会・ボーイスカウト茂原第2団・子ども会育成連合会)の活動を支援する。 子ども会育成連合会については、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	社会教育関係団体に対して財政面及び運営面の支援を行うことで活性化を図り、地域住民等の力を借りて社会教育の充実を図る。ひいては施策「生涯学習体制の強化」、「生涯学習の担い手の育成・支援」及び「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	641	641	164						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	641	641	164						
	人工数	人	0.5								
	人件費	千円	3,831								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
社会教育関係団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。	社会教育関係団体の活性化を図るため支援を行う	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		回	6	6	4	4
社会教育関係団体の活性化により、社会教育の推進に努める。	子ども会育成連合会の活動回数	目標値	6	6	4	4
		実績値	3	3		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	1	3	1	社会教育関係団体助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業

整理番号
101030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・関係団体に補助金を交付し、活動を支援した。 ①PTA連合会 51千円(講演会等) ②子ども会育成連合会 113千円(ジュニアリーダー育成、クリスマスイベント等)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、単位子ども会(地区ごとの子ども会)の数が減少傾向にある。また、子ども会加入率も大きく落ち込んでいる。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>・青少年育成茂原市民会議や青少年相談員連絡協議会等の青少年育成関係団体との連携をサポートし、一層効果的な活動ができるような体制づくりを推進する。 ・広報等を通じて、市民や自治会に子ども会活動に対する理解を深めてもらうための啓発を行う。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>社会教育団体への支援により、社会教育の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、子ども会活動に関する効果的な周知啓発方法についても検討していただきたい。</p>		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)総合学習推進事業					

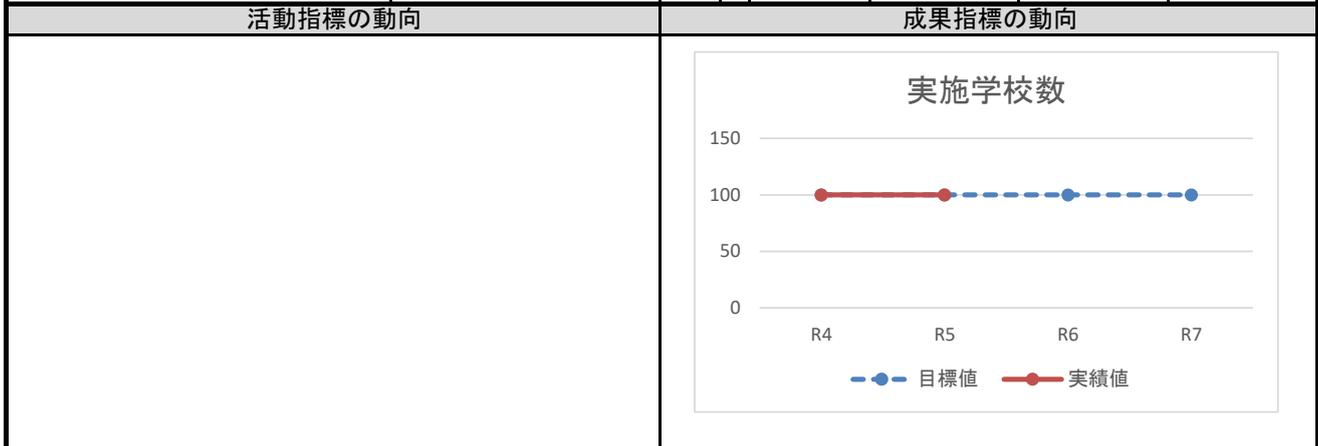
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	03	総合学習推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 学務係					

実施計画整理番号	
102010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 児童個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,201	1,201	982						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,201	1,201	982						
	人工数	人		—							
	人件費	千円		—							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する。	学校への支援	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値	100	100	100
すべての児童の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	%	実績値	100	100	



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	1	(小)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	03	総合学習推進事業

整理番号
102010101

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。 ・全小学校で実施できた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>いずれの取り組みも、児童の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創意工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。</p>		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるようにしていく一方、予算面においては他の事業と共用できる消耗品は共用するなど、経費削減に努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>総合学習のための支援により、児童の社会で生きる力の育成に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援により、すべての学校で実施できるよう努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)総合学習推進事業					

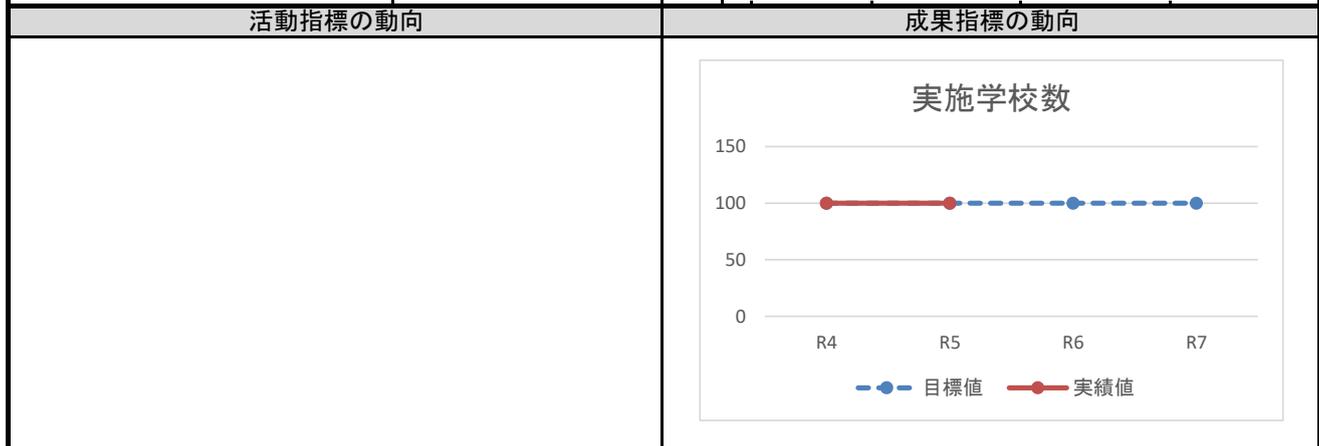
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	03	総合学習推進事業
担当課・係等				
学校教育課 学務係				

実施計画整理番号	
102010102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	602	602	523						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	602	602	523						
	人工数	人		—							
	人件費	千円		—							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する。	学校への支援		目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			100	100	100	100
すべての児童の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	%	実績値	100	100	



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	1	(中)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	03	総合学習推進事業

整理番号
102010102

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。 ・全中学校で実施できた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>いずれの取り組みも、生徒の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創意工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。</p>		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるようにしていく一方、予算面においては他の事業と共用できる消耗品は共用するなど、経費削減に努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>総合学習のための支援により、児童の社会で生きる力の育成に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援により、すべての学校で実施できるよう努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)子どもの読書活動推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	07	子どもの読書活動推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

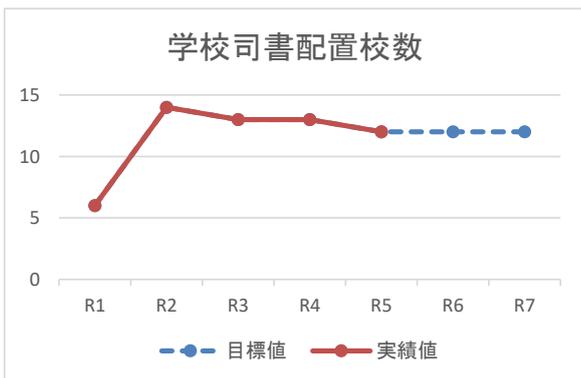
実施計画整理番号	
102010103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	学校図書館の整備・充実を図り、児童の読書活動や学習活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 専任の学校司書を配置する。 リースにて使用している学校図書館用のパソコンが老朽化しているため、新規に購入し、蔵書データベースへのアクセス環境を維持することで、児童の読書活動や学習活動の支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の充実を図ることで、本に親しむ意欲と態度の育成につなげ、ひいては、施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

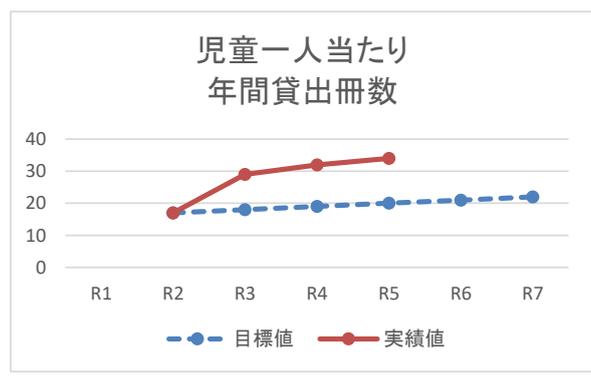
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	14,681	14,681	14,033						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	14,681	14,681	14,033						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館の効果的な活用のため、学校図書館用パソコンを購入し、学校司書を配置する。	学校図書館用パソコン購入台数	台	4	4		
		実績値	4	4		
	学校司書配置校数	校	13	12		
		実績値	13	12		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館の活用による読書活動や学習活動の推進により、本に親しむ意欲と態度の育成ひいては社会で生きる力の育成につなげる。	児童一人当たり年間貸出冊数	冊	19	20	21	22
		実績値	32	34		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	1	(小)子どもの読書活動推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	07	子どもの読書活動推進事業

整理番号
102010103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までに完了させた、小学校全12校の蔵書データベースを活用して、読書活動の活性化を図った。 ・蔵書データベース化により、必要な本が整理されて貸出業務が迅速になるとともに、児童の読書傾向を正確に把握できたため、選書の有効な手立てとなった。 ・児童の委員会活動が活発化し、読書活動を推進することができた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書がデータ管理されたことで、蔵書の偏りや複本が判明した。より効果的な選書をしていく必要がある。 ・データベース化作業の準備段階として、除籍を計画的に進めていく必要がある。 ※除籍…図書館等において図書原簿から図書館資料を除去すること。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や教科等で学校図書館を効果的に活用するため、整備された蔵書データベース化を、継続して有効活用していく。 	
企画政策課の評価		評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	学校図書館の整備・充実のための施策により、児童の読書活動及び学習活動の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き必要な整備を行うとともに、データベース化の推進に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)子どもの読書活動推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	3	02	07	子どもの読書活動推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

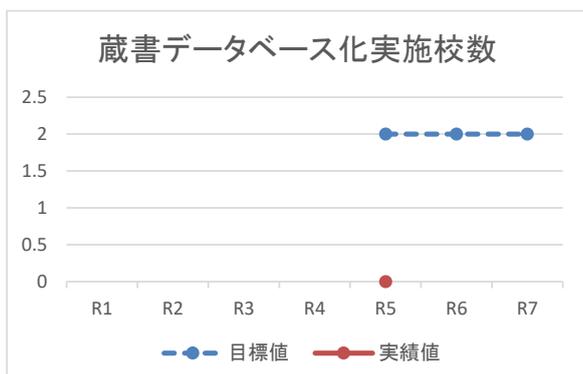
実施計画整理番号	
102010104	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	学校図書館の整備・充実を図り、生徒の読書活動や学習活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 専任の学校司書を配置する。 学校図書館の蔵書のデータベース化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の充実を図ることで、本に親しむ意欲と態度の育成につなげ、ひいては、施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。		

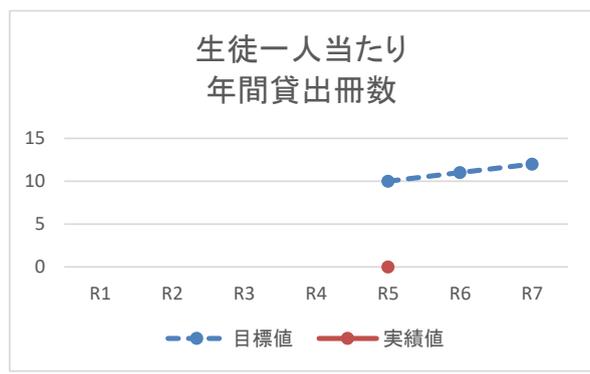
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,995	1,995	1,975						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,995	1,995	1,975						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館整備の中心となる蔵書データベース化実施校の拡充に努める。	蔵書データベース化実施校数	校		2	2	2
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の推進により本に親しむ意欲と態度の育成ひいては社会で生きる力の育成につなげる。	生徒一人当たり年間貸出冊数	冊		10	11	12
				-		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	1	(中)子どもの読書活動推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	3	02	07	子どもの読書活動推進事業

整理番号
102010104

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校1校への蔵書データベース化と図書館司書の配置を検討したが、達成できなかった。 ・小学校配置の図書館司書が、中学校の授業運営に協力することにより、読書活動を推進することができた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
D: 実施していない・実施できなかった			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書データベース化を、継続して計画していく。 	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	学校図書館の整備・充実は、児童の読書活動及び学習活動の充実とするものであるため、限られた予算の中での読書活動推進施策を検討していただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)国際教育推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	06	国際教育推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102010201	
総合戦略	
整理番号	

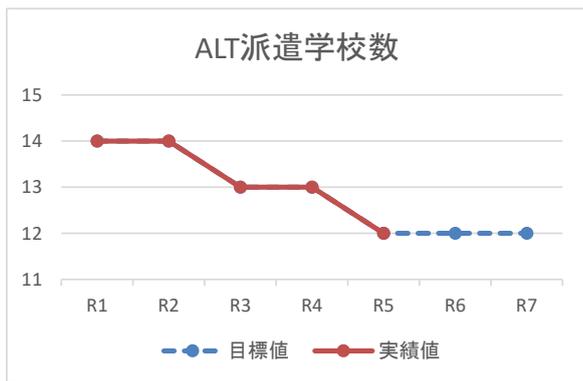
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか) ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	児童がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解することで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	19,272	19,272	19,272						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	19,272	19,272	19,272						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。	ALT派遣学校数	校	目標値	13	12	12
			実績値	13	12	
児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。	成果指標	単位	目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1 2	(小)国際教育推進事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	06	国際教育推進事業

整理番号
102010201

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・小学校3,4年生の外国語活動の授業に週1回、小学校5,6年生の外国語科の授業に週2回、ALTを配置した。</p> <p>・すべての小学校に派遣できた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>すべての小学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を養うことができた。また、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。</p>		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、ALTを全小学校に派遣することで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができると考える。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>すべての小学校へALTを派遣したことにより、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に一定の成果があったと認められる。引き続きすべての学校へALTの派遣を行っていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)国際教育推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	02	06	国際教育推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

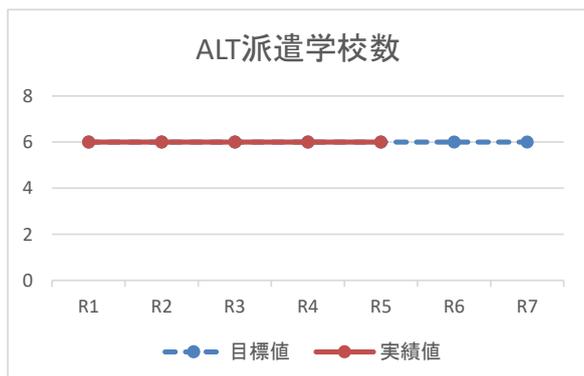
実施計画整理番号	
102010202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。	ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 中学生を海外に派遣し、ホームステイによる異文化交流を図る。 ※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	生徒がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解を深めることで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	34,908	34,908	31,772						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	3,600	3,600	1,014						
	一般財源	千円	31,308	31,308	30,758						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
・ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ・中学生の海外派遣	ALT派遣学校数	校	目標値 6 実績値 6	6	6	6	
	海外派遣人数	人	目標値 31 実績値 26 (国内研修)	31	26 (国内研修)		
	成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
	生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。			目標値 実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1 2	(中)国際教育推進事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	06	国際教育推進事業

整理番号
102010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての中学校にALTを派遣した。 ・中学生の海外派遣事業については、新型コロナウイルス感染症等の影響により国内研修を実施した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・すべての中学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養うことができた。また、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。 ・新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえ、国内での研修としたが、十分な効果を上げることが出来た。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての中学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養うことができた。また、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、今後も海外だけでなく、国内研修も視野に実施していく必要がある。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	
すべての中学校へALTを派遣したことにより、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に一定の成果があったと認められる。引き続きすべての学校へALTの派遣を行っていただくとともに、時代に即した研修の形を検討していただきたい。		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)学校教育支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	04	学校教育支援事業
担当課・係等				
学校教育課 指導係				

実施計画整理番号	
102020101	
総合戦略整理番号	

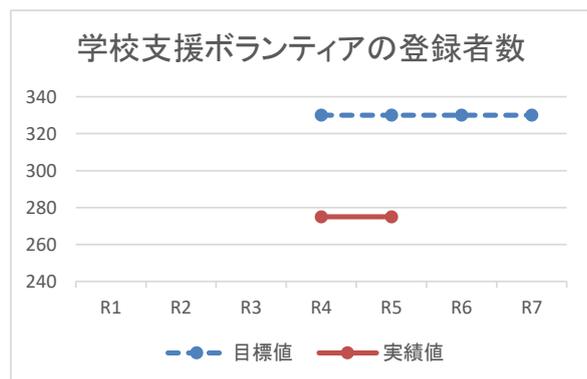
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、児童の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。</p>	<p>学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>学校支援ボランティアや心の教室相談員が、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を育み、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	106	106	81						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	106	106	81						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校支援ボランティアの登録や心の教室相談員を配置する。	学校支援ボランティアの登録者数	人	330	330	330	330
		実績値	275	275		
	心の教室相談員配置校数	校	4	4		
		実績値	4			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
児童が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。		目標値				
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	1	(小)学校教育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	04	学校教育支援事業

整理番号
102020101

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- 各小学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動、安全対策等を支援した。
- 心の教室相談員に代わり、全小学校にスクールカウンセラー(県費)が配置され、児童の悩み相談等に応じた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が縮小していたが、徐々に活動を再開することができた。
- 交通安全見守りボランティアは、昨年度に引き続き十分に支援を果たした。

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- 引き続き、学校の教育環境の整備や、教育活動等の支援をしていくことで、円滑な学校教育を支援していく。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 教育環境のソフト面における支援施策により、豊かな人間性の育成に一定の成果があったと認められる。引き続き効果的な支援方法の検討に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)学校教育支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	02	04	学校教育支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

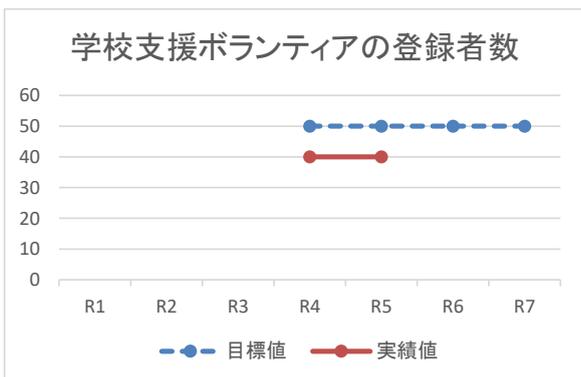
実施計画整理番号	
102020102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、生徒の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校支援ボランティアが、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりや社会性を育成し、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,360	2,360	2,117						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,360	2,360	2,117						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校支援ボランティアの登録や適応指導教室の設置	学校支援ボランティアの登録者数	人	50	50	50	50
		実績値	40	40		
	適応指導教室の設置箇所	箇所	2	2	2	2
		実績値	2	2		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
生徒が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。		目標値				
		実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	1	(中)学校教育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	04	学校教育支援事業

整理番号
102020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動等を支援した。 ・適応指導教室を2箇所設置し、不登校児童・生徒を対象に、自立心や社会性の育成、社会的自立を目指しての支援を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動が縮小していたが、徐々に活動を再開することができた。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校の教育環境の整備や、教育活動等の支援をしていくことで、円滑な学校教育を推進していく。 ・引き続き、不登校児童生徒の対応を、学校と連携を密にしながら対応していく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 教育環境のソフト面における支援施策により、豊かな人間性の育成に一定の成果があったと認められる。引き続き学校と連携を密にし、必要な支援に努めていただきたい。	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	2	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
学校給食物価高騰等対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	06	03	03	学校給食管理運営費	
担当課・係等					
学校教育課 学校給食センター					

実施計画整理番号	
102020201	
総合戦略整理番号	

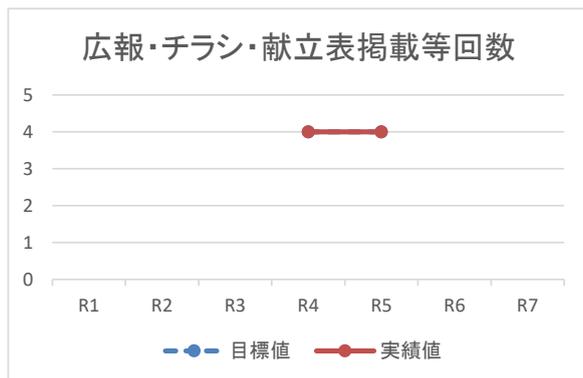
事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	多子世帯の第3子以降の給食費を無償化するとともに、学校給食食材費の高騰分を市で負担することで、長引くコロナ禍の不景気と、ウクライナ情勢の影響による物価高騰で打撃を受けている子育て世代の保護者の経済的負担を軽減する。	県費補助、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、 ①多子世帯のうち、扶養となっている第3子以降の小中学校在校生児童生徒の給食費を無償化する。 ②食材費の高騰分について市で負担する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

急激な物価高騰により、従前の給食費負担額でこれまでどおりの給食を提供することはできなくなっているが、すでに経済的打撃を受けている保護者に給食費の値上げを求めるのは難しい。食材費の高騰分を市で負担することで、安全・安心で豊かな学校給食を供給し、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。

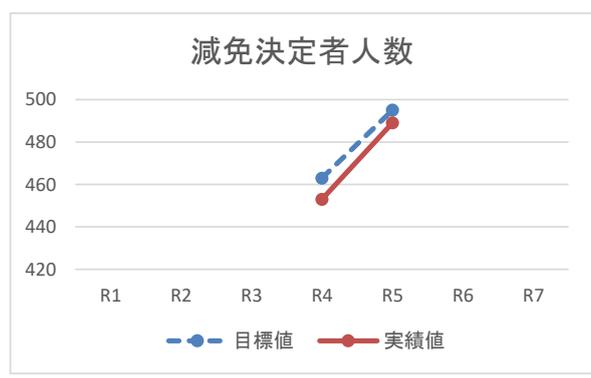
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	50,519	53,649	53,649						
	国補助	千円		40,536	40,657						
	県補助	千円	13,113	13,113	12,992						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	37,406								
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,299								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
制度の周知・広報	広報、チラシ、献立表掲載等回数	目標値	4	4		
		実績値	4	4		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
第3子以降の学校給食費無償化及び食材費の高騰分を市で負担することで、安全・安心で豊かな学校給食を供給するとともに、保護者への経済的な負担の軽減を図る。	減免決定者人数	目標値	463	495		
		実績値	453	489		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	学校給食物価高騰等対策事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	03	03	学校給食管理運営費

整理番号
102020201

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・食材料費の物価高騰分を公費で負担することにより、保護者負担の抑制が図られた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・保護者負担の抑制を図りながら、安心安全で栄養量を確保したバランスの良い給食を提供することができた。</p> <p>・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が廃止された場合、公費で負担するか、保護者負担として給食費を値上げするのか、(小学校1食270円→300円、中学校1食315円→350円)市の方針を決定する必要がある。</p> <p>・公費で負担する場合は年間約3,400万円の財源が必要となる。</p>		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の廃止を踏まえた、市の公費負担に対する方針の決定。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>学校給食に係る物価対応対策の施策により、子育て世代の保護者の経済的負担軽減に一定の成果があったと認められる。交付金廃止後の対応については、検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	01	01	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

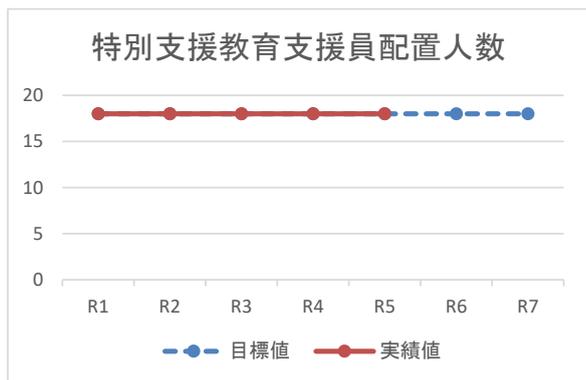
実施計画整理番号	
102020401	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	35,160	35,159	33,612						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	35,160	35,159	33,612						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置人数	人	目標値 18	18	18	18
		実績値 18	18			
	特別支援教育支援員配置校数	校	目標値 12	12	12	12
		実績値 12	12			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	4	(小)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	01	一般職人件費

整理番号
102020401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特別に支援を要する児童に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、支援を要する児童が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>特別支援教育支援員の配置により、適正な教育や支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援員の配置に努めていただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	01	01	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102020402	
総合戦略整理番号	

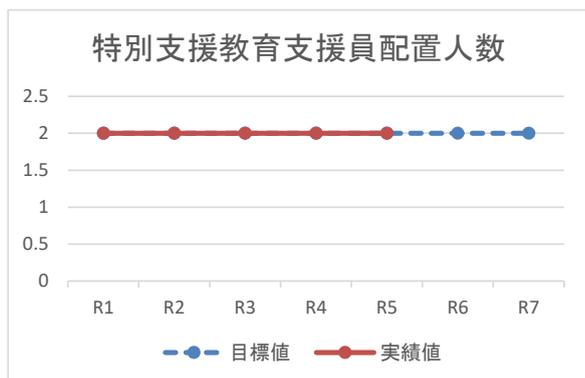
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
		障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、身辺自立や学習に課題がある生徒に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	4,523	4,686	4,627						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,523	4,686	4,627						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員配置人数	人	目標値 2	2	2	2
		実績値 2	2			
	特別支援教育支援員配置校数	校	目標値 2	2	2	2
		実績値 2	2			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	4	(中)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	01	01	一般職人件費

整理番号
102020402

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特別に支援を要する生徒に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、支援を要する生徒が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>特別支援教育支援員の配置により、適正な教育や支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援員の配置に努めていただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(幼)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	04	10	1	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102020403	
総合戦略	
整理番号	

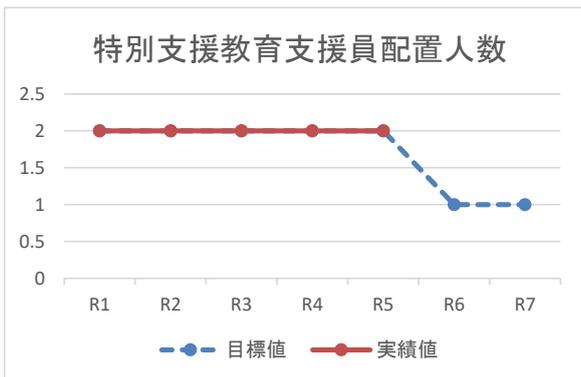
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して園生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,789	3,845	3,845						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,789	3,845	3,845						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員配置人数	人	目標値 2	2	1	1
		実績値 2	2			
	特別支援教育支援員配置園数	園	目標値 1	1	1	1
		実績値 1	1			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。		人	目標値			
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	4	(幼)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	10	1	一般職人件費

整理番号
102020403

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特別に支援を要する幼児に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、支援を要する幼児が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。</p>			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	特別支援教育支援員の配置により、適正な教育や支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援員の配置に努めていただきたい。		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
中学校施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	01	02	中学校管理補修費	
担当課・係等					
教育総務課 総務係					

実施計画整理番号	
102030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>老朽化した学校施設について、計画的に改修を行い教育環境の整備を図る。 また、グラウンド整備を行い屋外教育環境の充実を図る。</p>	<p>施設の改修やグラウンドの整備に伴う設計業務を行い、大規模改修、長寿命化改修、改築などの工事やグラウンド等の整備を実施する。また、工事に伴う監理業務を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>老朽化した学校施設について、計画的に改修やグラウンド整備などに努めることで、生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	17,257	17,257	13,634						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	12,100	12,100	9,400						
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,157	5,157	4,234						
	人工数	人	0.65								
	人件費	千円	4,583								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
改修事業等を実施することで、生徒の安全性を確保し、教育環境の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の状況把握 ・長寿命化計画や学校再編実施計画との整合性を考慮した整備 	目標値				
		実績値				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善 	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	3	1	中学校施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	01	02	中学校管理補修費

整理番号
102030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・南中学校南側のがけ対策について、業務委託により適切に地質調査及び対策工事の設計を行うことができた。</p> <p>・南中学校南側のがけ対策に伴う附帯工事として必要となる部室棟移設について、設計業務委託により適切に設計を行うことができた。</p> <p>・本納小・中学校北側道路拡幅に伴う附帯工事として必要となる駐車場門扉の設置工事について、設計業務委託により適切に設計を行うことができた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・学校の施設、設備の老朽化など、環境整備には多額の費用や期間を要することが見込まれる。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・3か年実施計画との整合を図りながら、必要な整備を実施していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>学校施設の整備に係る事業実施により、教育環境の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き計画的な事業実施に努めるとともに、限られた予算の中での効率的な事業実施方法を検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	3	1	学校教育 教育環境の整備
実施計画事業名				
小学校施設整備事業(本納地区小中一貫型校)				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	02	小学校管理補修費 小学校施設整備事業
担当課・係等				
教育総務課 総務係				

実施計画整理番号	
102030102	
総合戦略 整理番号	

事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
事業の概要 (PLAN)	<p>本納中学校敷地内の新校舎(8教室及び配膳室)の建設に際し、必要となる設備を整備することで、児童生徒の安全性や快適な学習環境の確保につなげる。 また、小中一貫教育の導入を進めていくことで、特色ある教育を目指す。</p>	<p>新校舎を建設し必要となる遊具や体育器具等を設置する。 また、駐車場やグラウンド等を整備し教育環境の改善を図る。</p>
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)		
	<p>本納中学校敷地内に本納小学校新校舎を建設し、必要となる設備を整備することで、児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,520	3,520	3,207						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	3,100	3,100	2,800						
	その他	千円									
	一般財源	千円	420	420	407						
	人工数	人	0.6								
	人件費	千円	4,200								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
校舎建設や施設整備を実施することで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の改善に努める。	・校舎の建設 ・必要となる設備等の整備	目標値				
		実績値				
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
施設整備を実施することにより児童生徒の安全性の確保ひいては教育環境の充実につなげる。	・児童生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	3	1	小学校施設整備事業(本納地区小中一貫型校)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	02	小学校管理補修費 小学校施設整備事業 中学校管理補修費

整理番号
102030102

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・本納小・中学校北側道路拡幅に伴う附帯工事として必要となる駐車場門扉の設置工事について、設計業務委託により適切に設計を行うことができた。</p>		
必要性の評価 A: 必要性が高い	有効性の評価 A: 有効性が高い	効率性の評価 A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・学校の施設、設備の老朽化など、環境整備には多額の費用や期間を要することが見込まれる。</p>		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・3か年実施計画との整合を図りながら、必要な整備を実施していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>本納中学校敷地内施設の整備に係る事業実施により、教育環境、特に小中一貫教育環境の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き計画的な事業実施に努めるとともに、限られた予算の中での効率的な事業実施方法を検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
小学校施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	01	02	小学校管理補修費 小学校施設整備事業	
担当課・係等					
教育総務課 総務係					

実施計画整理番号	
102030103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	老朽化した学校施設について、計画的に改修を行い、安全性の確保及び教育環境の充実を図る。 また、グラウンド整備等を行い屋外教育環境の充実を図る。	施設の改修やグラウンドの整備に伴う設計業務を行い、大規模改修、長寿命化改修、改築などの工事やグラウンド等の整備を実施する。また、工事に伴う監理業務を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	老朽化した学校施設について、計画的に改修やグラウンド整備などに努めることで、児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	13,442	13,442	8,690						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	9,900	9,900	6,350						
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,542	3,542	2,340						
	人工数	人		0.15							
	人件費	千円		1,149							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
改修事業等を実施することで、児童生徒の安全性を確保し、教育環境の改善に努める。	・施設等の状況把握 ・長寿命化計画や学校再編実施計画との整合性を考慮した整備	目標値				
		実績値				
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
改修事業等の推進により児童生徒の安全性の確保ひいては教育環境の充実につなげる。	・児童生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	3	1	小学校施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	02	小学校管理補修費 小学校施設整備事業

整理番号
102030103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>【東郷小学校】トイレ改修設計費:2,200,000円 ・老朽化に伴うトイレの改修、洋式化工事を行うため、東郷小学校第2教室棟トイレ改修工事設計業務を実施した。</p> <p>【東部小学校】トイレ改修設計費:1,540,000円 空調設備工事費:2,420,000円 ・老朽化に伴うトイレの改修、洋式化工事を行うため、東部小学校教室棟トイレ改修工事設計業務を実施した。</p> <p>・老朽化に伴い、空調機が正常に機能していないことから、熱中症対策及び感染症拡大防止のため、東部小学校普通教室空調設備改修工事を実施した。</p> <p>【萩原小学校】空調設備工事費:2,530,000円 ・老朽化に伴い、空調機が正常に機能していないことから、熱中症対策及び感染症拡大防止のため、萩原小学校普通教室空調設備改修工事を実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>全ての小中学校のトイレ改修、洋式化には、多額の費用や、期間を要する。また、老朽化している空調機も多数あり、更新や、特別教室への空調機設置も検討する必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>本市のトイレ洋式化率は、令和5年度末現在で、74.1%であり、全国平均の68.3%を上回っているが、今後も衛生環境の向上を図るため、また、空調設備については、児童生徒の熱中症対策として、安心安全な教育環境を確保するため、学校施設の長寿命化計画や、3か年実施計画との整合を図りながら、改修工事を実施する。</p> <p>なお、今後も工事担当部局の職員が行うことのできる設計業務や、工事監理業務を当該部局に依頼することで、経費の縮減を図る。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>トイレ改修等、学校施設の整備に係る事業実施により、教育環境の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き計画的な事業実施に努めるとともに、限られた予算の中での効率的な事業実施方法を検討していただきたい。</p>	